

現地新聞に掲載された紹介記事からも伺える、

マイセン市民の有田への関心の高さ。

ザクセン州新聞
9月19日・20日(土・日)15ページ

“60.000 Besucher zum Weinfest erwartet” ワイン祭りに6万人のお客が 期待されている

マイセン中央広場での開会式に数千人が参加した。ロシアからの男性合唱団、日本からのお客さんと、その中にザクセン州のワイン女王ヘル・マレーン。2009年のマイセンワイン祭りが始まった。クライマックスは日曜日に行われる市内パレード。今年のモットーはマイセン市と日本の有田町の姉妹関係の30周年。日本からのお客さんは祭りの間にTuchmachertor(ツーマッハー門)の隣にある“有田ギャラリー”で日本の文化を紹介する。

MEISSNER ZEITUNG
STADT UND LAND

60 000 Besucher zum Weinfest erwartet

Tausende Gäste kamen einfach super, um Freunde zu treffen. Die Veranstaltung wird als Höhepunkt angesehen.

ザクセン州新聞
9月21日(月)17ページ

(写真)有田訪問団の藤ノキ子さんがプロカクラウディアさんにちぎり絵の技術を伝授する。今日はマイセン市役所で“有田会議”が開催される。参加者はマイセン市長、有田町長とマイセン有田友好協会のメンバーなどである。

STADT MEISSEN
MONTAG, 21. SEPTEMBER 2009

Viele Besucher im japanischen Palais

Claudia Wieka (Bildmitte) lässt sich im japanischen Palais in Meissen in die Geheimnisse des Chigiri-e (Japanische Collagenbilder) von Yukiko Fujii (links) einweihen. Am heutigen Montag lädt das Rathaus zur „Arita“-Konferenz, bei der OB Olaf Raschke mit dem Bürgermeister der Partnerstadt Masata Iwanaga und dem Vorsitzenden der Gesellschaft Meissen-Arita e.V., Kai Leonhardt, neue Projekte besprechen will.

ザクセン州新聞
9月21日(月)15ページ

“Japanische Tellertaenzer verzaubern beim grossen Festumzug das Meissener Publikum”

日本の皿踊り隊がワイン祭り パレードの観客をうっとりさせる

マイセンワイン祭りのクライマックスと呼ばれるパレードが日曜日に行われた。パレードの先頭はマイセンの姉妹都市有田の50名の訪問団だった。彼らはマイセン市長ラシュケと一緒に姉妹都市関係の30周年を祝うためにマイセンまで来た。日本の伝統的な着物で、有田の祭りで上演される皿踊りを見た。スペインのカスタネットみたいに小さい磁器で作った皿をたたきながら踊った。磁器は両都市を結びつけたものです。(写真注釈)日本団は大勢で皿踊りを披露した。

STADT MEISSEN
SÄCHSISCHE ZEITUNG

im großen Festumzug das Meißner Publikum

Die japanische Delegation zeigt sich beim großen Festumzug.

RUND UM DRESDEN
9月21日(月)17ページ

Hoch die Tassen und die japanischen Teller

Meißner registrierten 55 000 Besucher bei Weinfest und stießen auf Städtepartnerschaft an. 280 Winzerstände und Gaststätten luden am Wochenende zum Vorweihnachten in den Weinbergen.

Hoch die Tassen und die japanischen Teller
Meißner registrierten 55 000 Besucher bei Weinfest und stießen auf Städtepartnerschaft an. 280 Winzerstände und Gaststätten luden am Wochenende zum Vorweihnachten in den Weinbergen.



Führten beim großen Festumzug am Sonntag ihren traditionellen Telleranzug auf: die japanischen Gäste aus Arita, insgesamt beteiligten sich 970 Personen an dem 1,230 Meter langen Umzug durch die Meißner Altstadt.

ドレスデン新聞
9月21日(月)17ページ

Hoch die Tassen und die japanischen Teller Wingelglas und Japanische Teller

週末に2009年のマイセンワイン祭りが開催された。晴れの天気とおいしいワインに誘われて55.000人の観客がやって来た。ワイン女王ヘル・マレーンが金曜日の夜に祭りの開会宣言をおこなった。祭りで注目となったのはマイセンと有田の姉妹都市関係30周年。お祝いのために50名の訪問団が来て、旧市内のTuchmachertor(ツーマッハー門)の横に“有田ギャラリー”を開催した。店でマイセン市民に日本の文化、例えば、茶道や折り紙を紹介した。また、太鼓や三味線の上演も行われた。ハレとライブシッヒ大学から日本学部の学生が通訳者として手伝いに来て、国際交流の一部になった。日本から訪れた人達は火曜日までマイセンに滞在する。(写真注釈部分)日曜日のパレードで、日本の有田から訪れた彼女らの伝統的なプレート・ダンスを披露。

ザクセン新聞
9月19-20日(土・日)

“Schoenes aus der japanischen Porzellanstadt”

日本の磁器の町有田からの美しさ

木曜日にマイセン磁器製作所の博物館で“磁器の町有田”からの45作品の特別展示会が開かれた。有田町長岩永正太によると、「この事業がマイセンと有田の関係だけでなく、ヨーロッパとアジアの国際間の協調に役立つものになる。」とスピーチした。マイセン磁器は来年に300周年を迎えるが、実は日本の有田に起源するものだ。有田は1616年磁器芸術の発祥の地と知られている。「我が会社の輸出にとって、日本が大事なパートナーです」と、マイセン磁器製作所社長ルツツ・リッヒターがコメントした。有田陶芸協会の河口会長は、「この現代の創造性を盛り込んだ作品を通して、お客様に日本の文化を少しでも理解していただきたい」との理由で美術品だけでなく、日常生活に使われる磁器も選んだ。展示会のオープニングには、マイセンと有田の姉妹都市関係30周年の記念事業に関する50名の訪問団が出席した。マイセン有田友好協会会長のレオンハートカイによると、11月に返礼訪問が行われる。

STADT MEISSEN
SÄCHSISCHE ZEITUNG

Schönes aus der japanischen Porzellanstadt

Vasen wie diese (Gr.F.) aus der Firma Kakiemon, die in 14. Generation in Meißners Partnerstadt Arita Porzellan herstellt, sowie Porzellan für den alltäglichen Gebrauch zeigen die Exponate von 45 japanischen Künstlern in der neuen Sonderschau der Manufaktur.



天然記念物
大公孫樹 (ありたおおいちょう)
約1,000年と推定される大公孫樹は、樹皮が厚く、樹高が約10メートルあり、樹冠が広大で、周囲の景観に彩りを添えています。樹齢は不明ですが、樹皮の断面から推定すると、約1,000年前に植えられたとされています。樹皮の断面からは、約1,000年前に植えられたと推定されています。樹皮の断面からは、約1,000年前に植えられたと推定されています。樹皮の断面からは、約1,000年前に植えられたと推定されています。



柿右衛門窯

ミチャウインクラークバンドの公演



チャイナ・オンザ・パーク忠次館



有田館



焔博記念堂

町をあげて、マイセン訪問団を心からおもてなし。

11月18日から23日まで、マイセン郡長を団長としたマイセン訪問団23名が「秋の有田陶磁器まつり」に合わせて有田町を訪問し、陶磁器祭りオープニングセレモニーや茶わん供養の神事などに参加しました。また訪問に同行した「ミチャウインクラークバンド」は街角ライブをおこない、陶磁器まつりに彩りを添えました。有田滞在期間中は市民団全員がホームステイによる宿泊でホストファミリーと交流を深めました。



対面式



マイセン市民と血踊り

(左)マイセン市長
(中)マイセン郡長



茶わんまつりでのもちつき体験



芸術文化交流、30周年記念のイベントも開催。

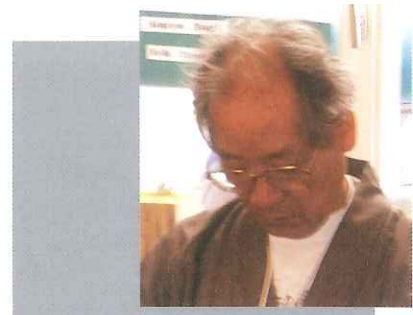
文化庁「地域文化芸術振興プラン」佐賀県地域文化芸術振興プラン推進事業
有田マイセン姉妹都市30周年記念芸術文化交流
バレエ「白鳥の湖ハイライト」&ピアノ独奏
平成21年11月21日 焔博記念堂文化ホール



有田マイセン姉妹都市30周年を記念して、『バレエ「白鳥の湖ハイライト」&ピアノ独奏』を開催。バレエは、新国立劇場のトップダンサー寺島まゆみ・ひろみさんの双子姉妹ら4人による「白鳥の湖」を上演しました。ピアノ独奏は、武村八重子さんがショパン、ベートーヴェンのクラシックからアニメの曲と幅広く演奏しました。公演は1回目を町内小中学生対象、2回目を一般者対象におこない、計600名の人達が世界でも活躍するトップレベルの公演に魅了しました。



マイセン市訪問参加者の感想 (9月マイセン市訪問)



関 秀哉

ホテルの庭から眺めると、お城や教会のどがった塔と赤い屋根の街並みが見える。おとぎ話にそっくりな小綺麗な街だ。ホテルの裏には、川幅の広いエルベ川が流れている。水もかなりの量があり透きとおっていてきれいである。

街並みがきれいで、川幅は広く、しかも水が透きとおっている光景は以前見たような気がした。ふと20~30年前に訪れたことのある中国福建省「徳化窯」を思い出した。白磁の観音像が有名で、宋時代から焼いていると言うから千年の歴史がある。街並みの小綺麗さ、大きな川で水がきれい、マイセンによく似ている。

マイセンは間もなく磁器発祥から300年の歴史になる。徳化窯は1000年以上も続いている。一体、やきもの産地が永く続いて行くための条件は何であろうか?いろいろな条件はあるが、街並みや水が綺麗といった周囲の環境に配慮をすることではないかと考えさせられた旅であった。



前田 美智子

2年ほど前に声をかけていただき三味線隊に仲間入りし、楽しく練習をしてきました。そんな中、ドイツ訪問のお話。

年齢のこともあり、家族からはまわりの方に迷惑をかけるのではと不安の声もありましたが、心配ないからという事で参加することに。

ワイン祭オープニングセレモニーに有田皿山三味線隊として出演。舞台上上がる時間が1時間ほど遅れるハプニングもありましたが、三味線演奏を緊張することなく楽しくできました。

ホッとしたのでしょ。少し疲れてしまい、食事が入らず日本から持参したおかゆでお腹を満たす状態。カップ麺も持参していたのですが、簡単に準備できると思っていただけで湯ができません。苦労し、日本が本当に恵まれていると実感しました。

パレードは、長いと思っていた2kmの道のりも沿道の多くの人達に声援を受け、時に走りながら時に歩きながら、馬の糞にも気をつけながら踊り、なんとか無事終えることができました。その道のりは楽しく心に深く残っています。

私たちの三味線の演奏でドイツの人たちが皿を持って、いっしょに皿山節を楽しそうに踊ってくれたことなど貴重な経験ができ、本当に夢のような時間でした。



池永 美津子

30年間で培われた友情と絆の深さを感じるマイセン交流の旅でした。

日本文化の一つとして「和紙ちぎり絵」を実演と実習で紹介しました。変わった描き方なので外国の人には興味を持ってもらえるか不安もありました。4名で実演を始めると食い入るように手元を見つめる熱い眼差しと人の輪ができました。言葉の壁もどこへやら、身振り手振りの笑い声の中、文化を伝え、なごやかな時を共有できた事は貴重な体験となりました。持参した300枚の「ちぎり絵」が草の根交流の証としてマイセンの何処かで友情の輪を育てていると思うと大きな力になります。

また今回の旅はひと味もふた味も違う何物にも代えがたい多くのものを学びました。これからもマイセン市との温かい関係が永遠に育まれますように願っています。



田中 萬里

マイセンの古い街並み、石畳の曲がりくねった坂道や階段。家の窓には花が飾られ、庭には季節の果樹が植えてあり心を和ませる街の景色。そんな静かな街もワイン祭り期間中は老若男女を問わず大勢の人が集まり、飲んで歌って踊っておしゃべりをして夜更けまでにぎわっていた。

最終日のパレードは、沿道にたくさんの人たちがワインを飲みながら大声援をかけて下さり「皿山節」を楽しく踊りました。

「有田店」では、マイセン友好協会の方々の協力により有田(日本)の文化交流を市民の方々と楽しくできたことは最高の思い出です。

ドレスデンのツヴィンガー宮殿では、建物が修復中で中に入らず焼物を見ることができずに残念でしたが、今度は友人達とマイセンで踊る事を夢見ています。



里見 美千恵

とにかく内容の濃い9日間だった。ありきたりな観光地巡りのツアーと違い、「有田マイセン姉妹都市30周年記念事業をみんなで協力して成す」という目的の存在が、こんなにも充実したものを生み出すとは思いませんでした。

三味線隊員として参加したものの、50の手習いとはいえ本人の努力不足と生来の楽器音痴も重なり、上手な方々の音色を邪魔しました。三味線隊の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

有田焼の絵付け「濃み実演」は、通訳の現地大学生デニーちゃん、実演助手兼説明係の長峰さん、セラミック専門分野の金岩先生が協力。ドイツの方の質問にも手際よく対応でき、有田焼の歴史・技法、絵の具の色等伝えることができ、絵付実演班として記念事業の一翼を担えたと安堵しています。

帰国後も前述の3名とは交流が続いており、素晴らしい出会いの旅になりました。



廣尾 千恵子

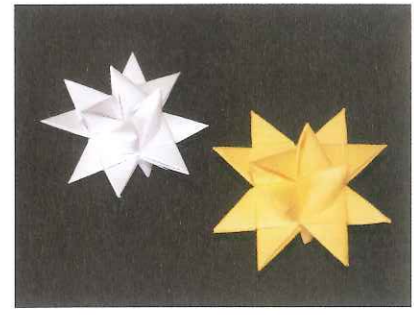
期待半分、不安半分でドイツへ。飛行機の長旅の疲れは、着陸前にヨーロッパの景色を見て吹き飛んだ。初めてづくしのドイツ・マイセンの旅は全てが新鮮で、特に行く先々でのおもてなしと歓迎には感激。

マイセン市民との交流で唯一心通ったのは有田店での折り紙おばさんとの出会い。日本の折り紙をドイツの方に伝えるはずが、材料持参でやってきたシューマンさんから逆に「星」の折り方を教わる事に。言葉は分らずそのうえ難しい。なかなか手厳しく叱られながら何度もやり直し何個も作らされた。そのおかげで作り方を習得し、綺麗に作れるようになった。

有田に帰り、すぐに200個ほど作り、土産話といっしょに子供たちへプレゼントした。「星」の話も添えて...

シューマンさんは81歳。私の母と同じ年齢。また元気な彼女に逢えますようにと折り紙の「星」に願いを込めて大切に仕舞った。

たくさんのお会いと感動の旅になりました。



マイセン市民団ホストファミリーの感想 (11月)



古川 朋子

「共通点をいろいろ見つけた出会い」
深夜の到着、対面式のあと疲れて長旅の疲れがないか気になりながら我が家へ向いました。家に向かう途中、「ためき」そして「テン(きつね系)」までお出迎え。有田の自然を夜道の中で感じた瞬間ではなかったでしょうか？
マイセン磁器の画家の彼女。初めての国外旅行が海外。そして、それが有田。疲れも忘れ、家でもなにかと筆を走らせていたのが印象的でした。我が家の子供たちも片言の英語ながら、美味しいものを通しての国際交流です。自然に囲まれることで心地よさを感じるところ、季節を美によって表現することを大切にすることなど、この出会いを通して共通点をいくつも見つけた出会いとなりました。次は娘たちがマイセンにてまた、色んな方々と出逢って来てくれることでしょう。



長嶺 真規子

我が家は、旧西有田国見山の麓にあります。北から腰岳、富士山のように見える牧ノ山、青螺山、黒髪山、稜線長く伸びた英山。雨上がりの時などはやまみず水墨画のように見えます。
深夜の到着から一夜明け彼女達は、窓の外に広がる美しい景色に歓声を上げました。バンドピアニストのジルケとボーカリストのスザネをホストファミリーとして招待する事を決めてからは、心配とドキドキの日々でした。しかし、有田の町に心から興味を抱き、美しい有田焼に目を輝かせ、日本を満喫したようでした。
有田を発つ日が近付いた朝、ジルケがピアノを習い始めて一年生の娘と連弾をしてくれました。家中に響き渡る迫力の音…。慌ただしくも深く心に響いた彼女達との日々。そしてマイセンへの旅。これからも、心の交流を続けたいと願っています。
有田で、そしてマイセンで。



スケジュール

マイセン市訪問 平成21年9月16日(水) ～9月24日(木)

月日	地名	摘要	宿泊
9/16(水)	有田 ドイツ	有田→福岡空港→成田空港→フランクフルト空港→ドレスデン空港→マイセン	マイセン
9/17(木)	ドイツ	●ビルニッツ城 見学 散策 ●蒸気外輪船でドレスデン市内までエルベ川クルーズ ●ドレスデン市内観光●ザクセン州首相府への訪問 ●マイセン磁器製作所有田焼展示会のオープニングセレモニー ●ウェルカムパーティー	マイセン
9/18(金)	ドイツ	●マイセン磁器製作所見学●マイセン市内観光 ●有田店・有田屋台 開店セレモニー●ワイン祭りオープニングセレモニー ●市長主催歓迎レセプション	マイセン
9/19(土)	ドイツ	●ぶどう農園見学●昼食会 プロシュピッツ醸造所 ●姉妹都市交流会ローテス・ハウスまで移動●姉妹都市交流会	マイセン
9/20(日)	ドイツ	●ワイン祭り、ワイン祭りパレード●有田店、有田屋台 閉店●花火大会	マイセン
9/21(月)	ドイツ	●姉妹都市会議●マイセン市内散策●有田主催による返礼パーティー	マイセン
9/22(火)	ドイツ チェコ	●テレビン小要塞見学 ●世界遺産ブラハ観光(ブラハ城、黄金の小道、カレル橋、旧市街)	ブラハ
9/23(水)	ブラハ ロンドン	●聖ヴィート教会見学 ブラハ空港→ロンドンヒースロー空港→成田空港	機内
9/24(木)	成田 福岡 有田	成田空港→福岡空港→有田	

マイセン市民団 有田町訪問 平成21年11月18日(水) ～11月23日(月)

月日	地名	摘要	宿泊
11/18(水)	ドイツ 有田	ドイツ→成田空港→福岡空港→有田	有田
11/19(木)	有田	●有田町内視察	有田
11/20(金)	有田	●長崎視察	有田
11/21(土)	有田	●秋の有田陶磁器まつりオープニングセレモニー●茶碗まつり神事 ●チャイナオンザパーク見学●歓迎レセプション(焔の博記念堂) (バンド街角ライブ演奏)●有田館	有田
11/22(日)	有田	●棚田ピクニック(野農里まつり～国見山散策) ●ぶどう苗の記念植樹●記念交流会(宗政酒造主催) (バンド街角ライブ演奏)●有田館●有田陶磁の里プラザ ●チャイナオンザパーク忠次館●記念交流会(ポーセリンパーク)	有田
11/23(月)	有田 京都	有田→京都	京都

「有田マイセン姉妹都市30周年記念事業」訪問団 50名

- | | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 池永 美津子 | 円田 スマ子 | 倉嶋 喬子 | 田代 正昭 | 長嶺 真規子 | 本山 陶美 |
| 石井 文子 | 岡部 景光 | 古賀 心み子 | 田中 萬里 | 廣尾 千恵子 | 百田 節子 |
| 石橋 憲子 | 岡部 美智子 | 里見 美千恵 | 田中 祐喜子 | 深川 祐次 | 森田 剛史 |
| 井上 文夫 | 片峯 圭子 | 清水 玉江 | 辻 武史 | 藤 悠紀子 | 森永 美智也 |
| 今村 安伊子 | 金岩 昭夫 | 下村 智恵子 | 手塚 英樹 | 前田 美智子 | 山口 容子 |
| 岩永 正太 | 金武 節子 | 関 秀哉 | 永石 比佐子 | 松尾 浩子 | |
| 岩永 真智子 | 金武 康男 | 関 弘美 | 永岡 圭一 | 松尾 文則 | |
| 浦郷 喜代子 | 河口 純一 | 瀬戸口 寛子 | 中島 妙子 | 松尾 佳昭 | |
| インゲル・エルンスト | 久家 郁子 | 高田 和代 | 中野 哲也 | 松村 徳仁 | |

協力していただいた企業・団体 (50音順・敬称略)

マイセン磁器製作所・博物館での
有田焼展示会における
作品出品協力

有田陶芸協会

- 青木 清高
- 井上 萬二
- 井上 康徳
- 今泉 今右衛門
- 今村 博
- 奥川 俊右衛門
- 小畑 裕司
- 梶原 茂正
- 河口 純一
- 川崎 精一
- 酒井田 祐右衛門
- 坂本 義弘
- 貞松 善次
- 佐藤 走波
- 庄村 健
- 庄村 久喜
- 高森 誠司
- 辻 聡彦
- 辻 常陸
- 筒井 辰也
- 照井 一玄
- 中尾 哲彰
- 中尾 英純
- 中尾 恭純
- 中尾 龍純
- 中島 康夫
- 長友 薫徳
- 中村 清吾
- 中村 清六
- 中村 太
- 西山 勇
- 西山 正
- 馬場 九州夫
- 樋口 憲人
- 廣澤 益次郎
- 前田 泰昭
- 松尾 勝也
- 松尾 博之
- 松本 英雄
- 溝上 雅人
- 村島 昭文
- 百田 暁生
- 矢鋪 與左衛門
- 山口 文彦
- 山口 幹彦

有田屋台で
日本酒の振舞用として
ぐい呑みの提供協力

佐賀県陶磁器工業(協)

- (有)杏土窯
- (有)池時製陶所
- 市川龍男
- 市喜窯
- 岩尾対山窯
- (有)江頭製陶所
- 川虎製陶所
- (有)観山製陶所
- (有)吉右工門製陶所
- (株)錦右工門窯
- (有)倉島泰山窯
- (株)源右衛門窯
- 幸右工門窯
- 皓洋窯
- (株)香蘭社
- 真右工門窯
- (株)親和伯父山
- (有)しん窯
- (有)聖陶苑
- (有)草山窯
- 大乗窯
- (有)田中乾山窯
- (株)田森陶苑
- 丹山窯
- 塚本増夫
- (有)天狗谷窯
- 田庄陶苑
- (株)陶悦窯
- 日本ポーセラーツ(株)
- (株)原重製陶所
- (有)平川製陶所
- 深川製磁(株)
- (株)福珠窯
- (有)福泉窯
- 藤井陽滋
- (有)宝泉窯
- 三宅製陶所
- 弥源次窯
- (有)李荘窯業所
- 立泉窯
- (有)魯山窯

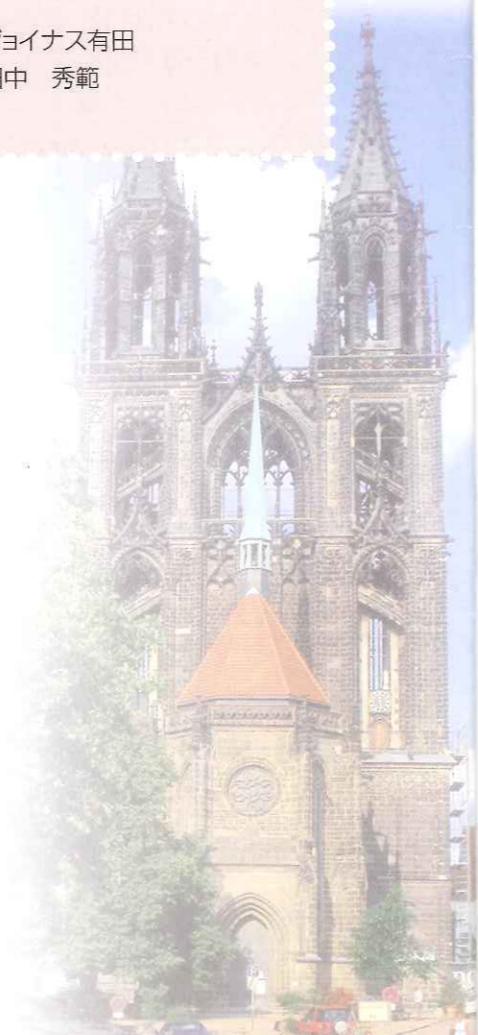
有田店で展示した
文化作品の出品協力

有田町文化協会

- 石橋 博美 (書道)
- 今村 次子 (山水画)
- 岩永 信子 (山水画)
- 大串 征子 (山水画)
- 館林 スミ子 (山水画)
- 田中 治 (書道)
- 永田 博康 (水墨画)
- 中原 重代 (書道)
- 森田 クニ (山水画・水墨画)

バレエ「白鳥の湖ハイライト」
&ピアノ独奏 公演への協力

ジョイナス有田
田中 秀範



陶都有田国際交流協会の紹介

陶都有田
国際交流協会とは

設立
平成元年6月に設立。国際親善に
関心を持つ町内事業者や団体、学
識経験者などで構成しています。

目的
有田町と外国都市との産業、文化、
教育等の国際交流事業を促進し、
国際的な相互理解による友好親善に
寄与することを目的としています。

活動
町民への国際交流の趣旨の普及
や、各種親善事業の実施などを通
して「国際都市ありた」を目指して
活動しています。

会員(50音順・敬称略)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 青木龍山窯 | 印刷ショップ アリタ |
| あかさかりンビニー園 | 大山郵便局 |
| 有田観光情報センター | (株)祐右衛門窯 |
| 有田金融協会 | (有)共栄電機代表 |
| 有田建設業組合 | 共立エレックス(株) |
| 有田皿山三味線隊 | (株)源右衛門窯 |
| 有田磁石場組合 | (株)香蘭社 |
| 有田商工会議所 | 国際ソロプチミスト有田 |
| 有田商店連盟 | 佐賀県議会議員(西松浦郡選出) |
| 有田町 | 佐賀県陶磁器卸商業(協) |
| 有田町議会 | 佐賀県陶磁器工業(協) |
| 有田町教育委員会 | 佐賀県陶磁器錦付(協) |
| 有田町区長会 | 佐賀県窯業技術センター |
| 有田町婦人会 | 佐賀県立有田窯業大学校 |
| 有田ドイツ学教室 | 佐賀県立九州陶磁文化館 |
| 有田陶芸協会 | (株)賞美堂本店 |
| 有田陶交会 | 親和陶磁器(株) |
| 有田はなぶさ会 | 陶都有田青年会議所 |
| 有田マイセン友好協会 | 西有田商工振興会 |
| 有田焼卸団地(協) | 西有田ライオンズクラブ |
| 有田焼直売(協) | 西松浦通運(株) |
| 有田ロータリークラブ | 肥前有田ライオンズクラブ |
| 井上萬二窯 | 肥前陶磁器商工(協) |
| (資)今右衛門 | 深川製磁(株) |
| 伊万里・有田焼伝統工芸士会 | (株)まるぶん |
| 伊万里市農業(協)有田市所 | 宗政酒造(株) |
| 岩尾磁器工業(株) | ヤマト陶磁器(株) |

有田マイセン姉妹都市30周年記念事業実行委員会

- | | | |
|-----|----------------|--------|
| 会 長 | 有田町長 | 岩永 正太 |
| 副会長 | 有田町議会議長 | 田代 正昭 |
| | 有田マイセン友好協会会長 | 手塚 英樹 |
| 監 事 | 有田町区長会会長 | 廣 徳男 |
| | 有田ドイツ学教室代表 | 金岩 昭夫 |
| 委 員 | 有田商工会議所会頭 | 山口 隆敏 |
| | 有田町議会産業建設常任委員長 | 藤 誠一郎 |
| | 有田町婦人会会長 | 佐藤 利枝 |
| | 有田陶芸協会会長 | 河口 純一 |
| | 有田ロータリークラブ会長 | 下 今朝隆 |
| | 国際ソロプチミスト有田会長 | 森 満代 |
| | 佐賀県陶磁器工業(協)理事長 | 岩永 寿久 |
| | 陶都有田青年会議所理事長 | 松本 哲 |
| | 西有田商工振興会会長 | 久間 英雄 |
| | 西有田ライオンズクラブ会長 | 岩永 忠美 |
| | 肥前有田ライオンズクラブ会長 | 古川 次則 |
| | 肥前陶磁器商工(協)理事長 | 篠原 文也 |
| | 参加者代表 | 今村 安伊子 |
| | // | 深川 祐次 |
| | // | 百田 節子 |

企画・制作
有田マイセン姉妹都市
30周年記念事業実行委員会
佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地
TEL.0955-46-2500 FAX.0955-46-2100
URL <http://www.town.arita.lg.jp/kokusai/>
発行/平成22年3月
印刷/印刷ショップアリタ
E-mail:post@yamain.com